



JPX

**JAPAN SECURITIES
CLEARING CORPORATION**

中期経営計画（2019年度～2021年度） における事業計画のアップデートについて

2021年4月28日

株式会社日本証券クリアリング機構

事業計画のアップデート方針

- 現行の中期経営計画（2019年度～2021年度）においては、以下の観点を重視して経営方針を策定し、その方針の下で具体的な事業計画を策定・実行。
 - JSCCが市場の中核インフラとしての機能を果たし続けていくためには、リスク管理の高度化や清算・決済の利便性・安全性向上などを通じて、**清算機関としての基本機能を強化していくことが重要。**
 - JSCCが市場の中核インフラとしての機能を発展させていくためには、清算サービスの利用者のニーズを的確に把握し、**新たなニーズに対応した清算サービスを提供していくことが重要。**

経営方針

1. 清算機関としての**基本機能の強化**
2. **新たなニーズに対応**した清算サービスの提供

アップデートの考え方

- これからも市場の中核インフラとしての機能を維持・発展させていくには、引き続き「清算機関としての**基本機能の強化**」と「**新たなニーズに対応**した清算サービスの提供」に取り組むことが必要な状況。
- また、現行の3か年の中期経営計画の最終年度（2021年度）を迎えることや、先般の東証の売買システム障害を踏まえてJPX全体で信頼性・レジリエンス（障害回復力）の向上に取り組んでいく必要があることなどから、今回の事業計画のアップデートに際しては、以下の考え方に基づいて個別事業計画のアップデートを行い、今後も引き続き積極的に各施策に取り組んでいくこととする。

- **現行の3か年の中期経営計画の最終年度として、予定していた計画を着実に遂行する。**
- **業務におけるレジリエンス（障害回復力）の向上策を推進する。**

主な事業計画のアップデート

(注) 下線部分がアップデート箇所

経営方針	サービス	具体的な事業計画
1. 清算機関としての基本機能の強化	取引所取引	<ul style="list-style-type: none"> ● 上場デリバティブに関する証拠金計算方法の高度化
	OTCデリバティブ	<ul style="list-style-type: none"> ● LIBOR算出停止等の金利指標改革への対応
	国債店頭取引	<ul style="list-style-type: none"> ● 国債清算システムのリプレースに向けた対応
	サービス共通	<ul style="list-style-type: none"> ● 損失補償財源の拡充を含むリスク管理の更なる強化 ● 機能の共通化・再配置等による清算システムの全体最適化（グランドデザイン） ● <u>関西セカンダリデータセンタへのバックアップシステム構築に向けた対応</u>
2. 新たなニーズに対応した清算サービスの提供	取引所取引	<ul style="list-style-type: none"> ● 商品デリバティブ清算の継続的な信用力強化・利用拡大に向けた対応 <ul style="list-style-type: none"> ➢ <u>電力先物の清算制度見直しの検討</u> ● 指定市場における新商品・新制度導入への対応 <ul style="list-style-type: none"> ➢ 上場デリバティブの祝日取引開始に係る対応
	OTCデリバティブ	<ul style="list-style-type: none"> ● シングルネームCDSの清算対象の拡大 ● 清算サービスの利用拡大に向けた対応 <ul style="list-style-type: none"> ➢ クライアントを中心とした利用拡大に向けた施策への取組み
	国債店頭取引	<ul style="list-style-type: none"> ● 清算サービスの利用拡大に向けた対応
	サービス共通	<ul style="list-style-type: none"> ● フィンテックの活用促進